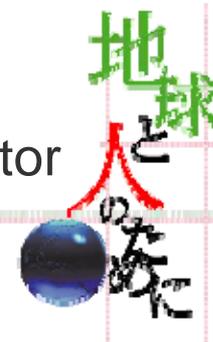


Hitz日立造船株式会社

# 2009年度決算説明会

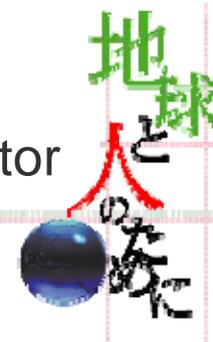
1. 2009年度連結決算概況
2. 2010年度見通し
3. 「Hitz Innovation II」計画(08～10年度)の進捗状況

Technology &  
Business Innovator



# 1. 2009年度連結決算概況

Technology &  
Business Innovator



1. 営業利益、経常利益、当期純利益の拡大  
⇒復配へ
2. 自己資本比率の増加
3. 特別損失計上による将来リスクの一掃

# 2009年度損益概要

(億円)	2008年度	2009年度	比較
受注高	2,531	(3,300) <b>3,372</b>	841
売上高	2,986	(3,000) <b>2,735</b>	▲251
営業利益 (営業利益率)	116 (3.9%)	(100) (3.3%) <b>135</b> (4.9%)	19 (1%)
営業外損益	▲27	25	52
経常利益 (経常利益率)	89 (3%)	(70) (2.3%) <b>160</b> (5.8%)	71 (2.8%)
特別損益	▲43	▲61	▲18
税引前当期純利益	46	99	53
当期純利益 (当期純利益率)	14 (0.5%)	(50) (1.7%) <b>79</b> (2.9%)	65 (2.4%)
ROIC	6.8%	(5.7%) <b>7.6%</b>	0.8%

(注)2009年度の括弧内の数字は、2009年5月に公表した見通し。

\* ROIC(投下資本利益率) = 営業利益 ÷ 投下資本

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債 + 少数株主持分 - (短期有価証券 + 投資有価証券)

# セグメント別営業損益状況

(億円)

		環境・プラント	機械・プロセス機器	精密機械	鉄構・建機	その他	計
2009年度	売上高	1,154	793	141	319	328	2,735
	営業利益	55	71	2	4	3	135
2008年度	売上高	1,208	887	205	301	385	2,986
	営業利益	22	84	5	▲13	18	116
比較	売上高	▲54	▲94	▲64	18	▲57	▲251
	営業利益	33	▲13	▲3	17	▲15	19

※2010年度から、新会計基準に基づきセグメントを変更するが、  
上表の2008年度、2009年度は、従来のセグメントで表示している。

# 営業損益の増減内訳

(億円)

2008 年度 営業損益		116
増減内訳	1. 売上高減少(▲317億円)による影響	▲ 46
	2. 会計基準(工事進行基準)変更に伴う 売上高増加(66億円)による影響	8
	3. コスト・ダウン他	57
2009 年度 営業損益		135

# 営業外損益の内訳

(億円)	2008年度	2009年度	比較
金利負担額 (受取利息－支払利息)	▲16	▲14	2
受取配当金	1	2	1
持分法による投資損益	1	37	36
その他営業外損益	▲13	0	13
計	▲27	25	52

# 特別損益内訳

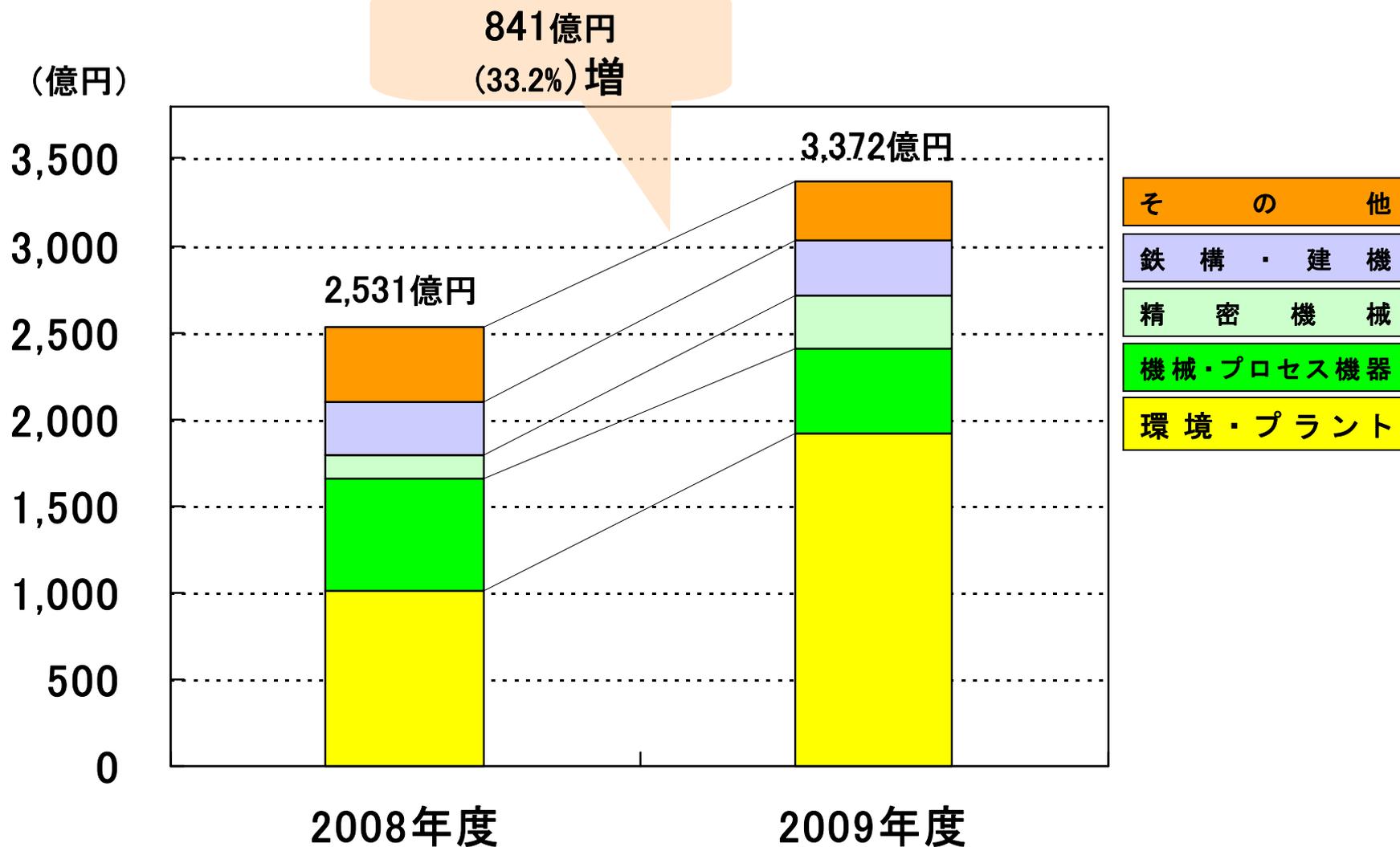
		(億円)	2008年度	2009年度	比較
特別利益	固定資産売却益		16	-	▲16
	訴訟損失引当金戻入益		8	-	▲8
	計		24	-	▲24
特別損失	訴訟損失引当金繰入額		▲57	▲61	▲4
	減損損失		▲10	-	10
	計		▲67	▲61	6
特別損益合計			▲43	▲61	▲18

# キャッシュフロー・有利子負債

		(億円)	2008年度	2009年度	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー		23	55	32
	投資活動によるキャッシュフロー		▲75	▲126	▲51
	財務活動によるキャッシュフロー		12	87	75
	その他の増減		▲2	-	2
	キャッシュフロー増減額合計		▲42	16	58
	現金・現金同等物の期首残高		542	500	▲42
	現金・現金同等物の期末残高		500	516	16

		(億円)	2009年 3月末	2010年 3月末	比較
有利子負債	借入金		695	820	125
	社債		340	304	▲36
	リース債務		2	4	2
	合計		1,037	1,128	91

# セグメント別受注状況



※2010年度から、新会計基準に基づきセグメントを変更するが、上のグラフの2008年度、2009年度は、従来のセグメントで表示している。

# セグメント別受注状況

(億円)

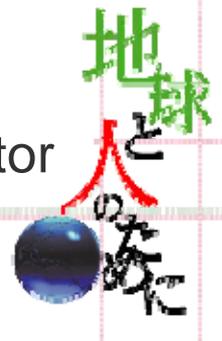
	2008年度	2009年度	比較	
環境・プラント	1,005	1,913	(90.3%)	908
機械・プロセス機器	653	492	(▲24.7%)	▲161
精密機械	133	309	(132.3%)	176
鉄構・建機	303	319	(5.3%)	16
その他	437	339	(▲22.4%)	▲98
受注高合計	2,531	3,372	(33.2%)	841

※2010年度から、新会計基準に基づきセグメントを変更するが、  
上表の2008年度、2009年度は、従来のセグメントで表示している。

## 2. 2010年度見通し

---

Technology &  
Business Innovator



# 2010年度見通し概要

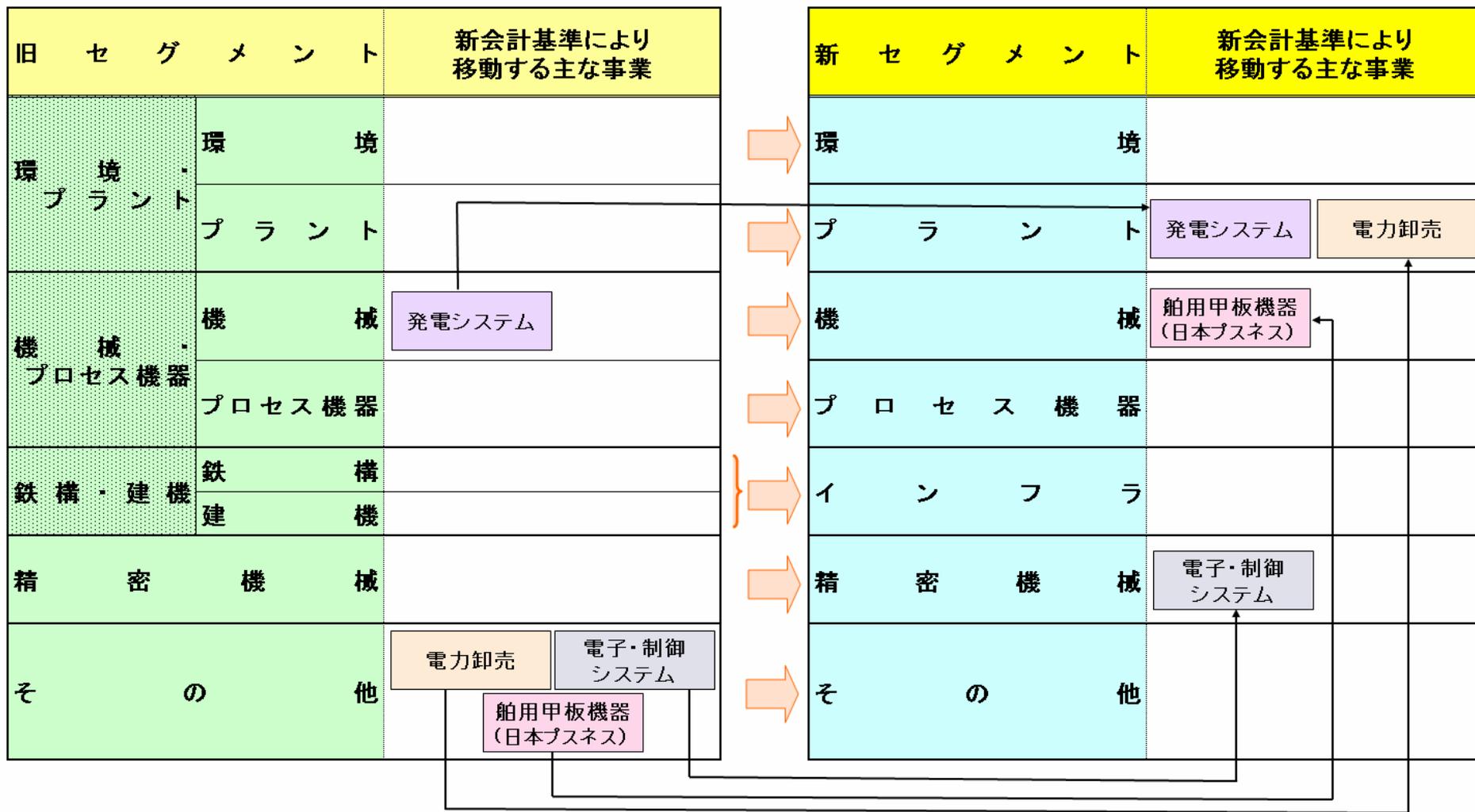
	2009年度	(HI-Ⅱ(注2) 2010年度)	2010年度	対2009年度 比較
受注高	3,372	(3,600)	3,600	228
売上高	2,735	(3,400)	3,000	265
営業利益 (営業利益率)	135 (4.9%)	(170) (5%)	120 (4%)	▲15 (▲0.9%)
経常利益 (経常利益率)	160 (5.9%)	(160) (4.7%)	100 (3.3%)	▲60 (▲2.6%)
特別損益	▲61		0	61
当期純利益 (当期純利益率)	79 (2.9%)	(90) (2.6%)	80 (2.7%)	1 (▲0.2%)
ROIC(注1)	7.6%	(12%)	6.6%	▲1%

(注1)ROIC(投下資本利益率) = 営業利益 ÷ 投下資本

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債 + 少数株主持分 - (短期有価証券 + 投資有価証券)

(注2)HI-Ⅱ:中期経営計画「Hitz Innovation Ⅱ」

# セグメントの変更



## 2010年度セグメント別受注見通し(新セグメント)

(億円)

	2009年度	2010年度	比較
環 境	1,705	1,500	▲205
プ ラ ン ト	340	580	240
機 械	433	570	137
プ ロ セ ス 機 器	104	250	146
イ ン フ ラ	346	330	▲16
精 密 機 械	362	280	▲82
そ の 他	82	90	8
<b>受 注 高 合 計</b>	<b>3,372</b>	<b>3,600</b>	<b>228</b>

※2010年度から、新会計基準に基づきセグメントを変更する。  
2009年度の数値も新会計基準に基づき再計算した。

# 2010年度営業損益見通し(新セグメント)

(億円)

		環境	プラント	機械	プロセス 機器	インフラ	精密機械	その他	計
2010 年度	売上高	900	350	680	210	370	400	90	3,000
	営業利益	38	▲12	34	26	2	23	9	120
2009 年度	売上高	893	410	545	269	345	190	83	2,735
	営業利益	35	13	29	52	▲2	2	6	135
比較	売上高	7	▲60	135	▲59	25	210	7	265
	営業利益	3	▲25	5	▲26	4	21	3	▲15

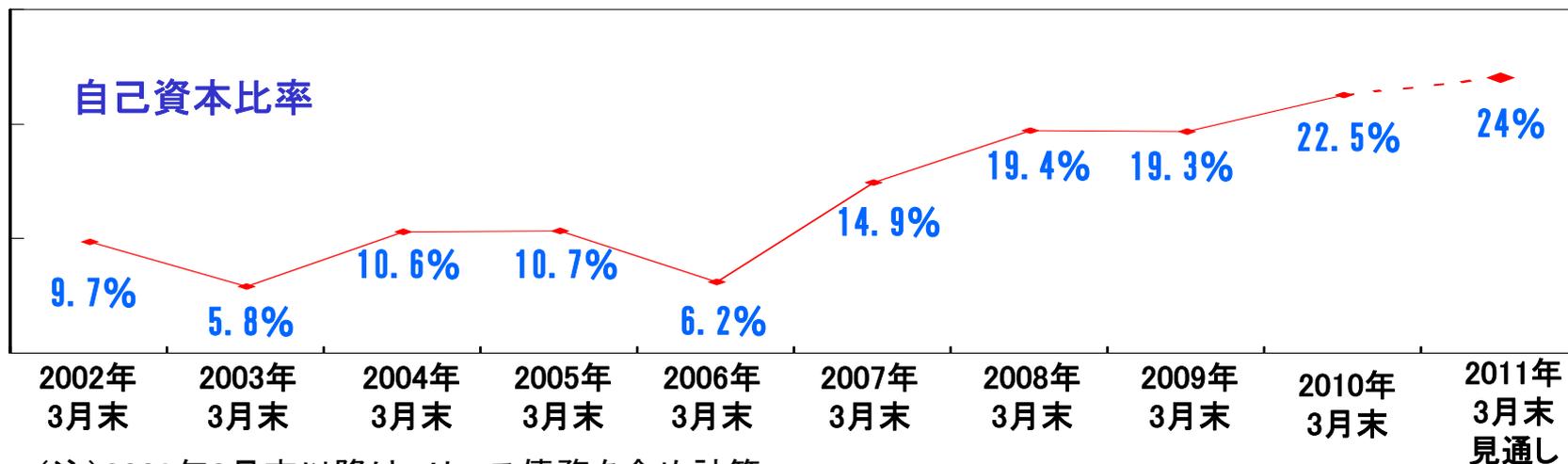
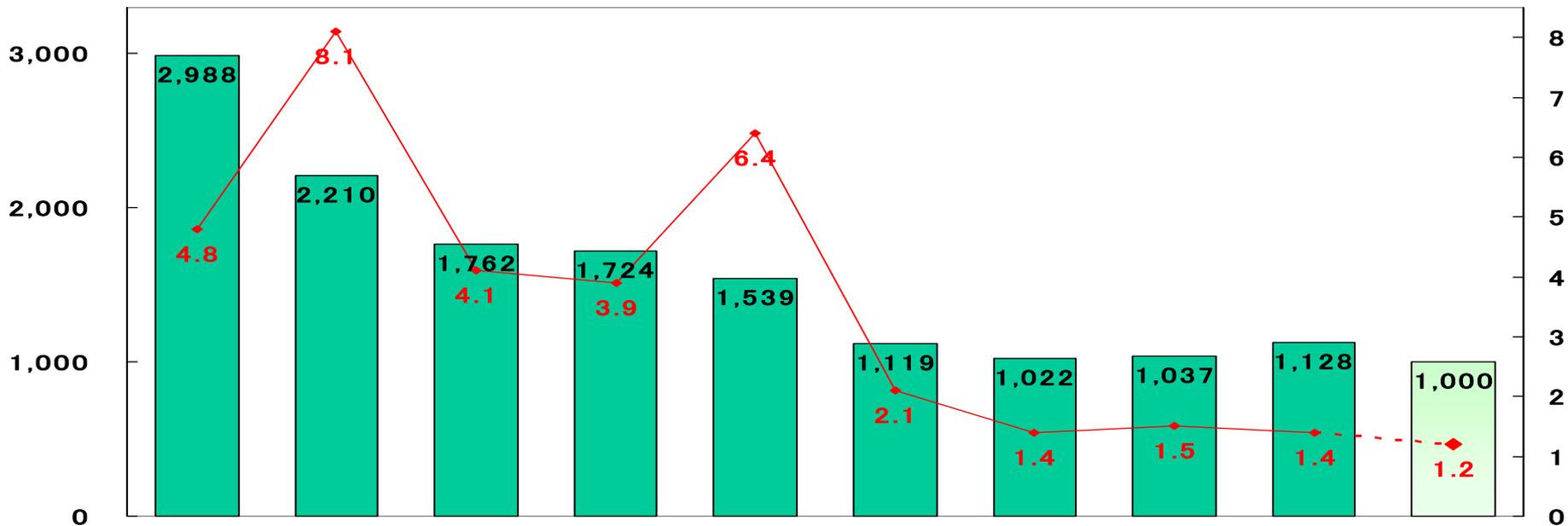
※2010年度から、新会計基準に基づきセグメントを変更する。

2009年度の数値も新会計基準に基づき再計算した。

# 有利子負債残高の見通し

(億円)

D/Eレシオ(倍)



(注) 2009年3月末以降は、リース債務を含め計算。



### 3. 「Hitz Innovation II」(08～10年度)の進捗状況

Technology &  
Business Innovator



# 「Hitz Innovation II」計画の重点施策

重点施策	進捗状況
1. ポートフォリオ経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注力事業の明確化、経営資源投入               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 船用エンジンの中国製造合弁会社発足</li> <li>→ 太陽電池フィルム一貫製造システムの確立</li> </ul> </li> </ul>
2. 新製品・新事業開発と設備投資拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注力事業への積極的な設備投資               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 堺工場内の産業機械専用新工場の稼働</li> <li>→ 高効率蒸発法海水淡水化プラント/実証機の建設</li> <li>→ 有明工場での大型重量物積出設備の設置</li> <li>→ <b>有明工場のキャスク工場増強</b></li> </ul> </li> <li>・新分野の開拓               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ シールド掘進機の中国での協業</li> <li>→ 米国脱硝触媒工場の稼働</li> </ul> </li> </ul>
3. 人材育成策の強化と人材確保・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性などが働きやすい職場づくり・環境づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 女性戦力拡大グループの設置</li> </ul> </li> <li>・長期的な人材の育成策の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 研修・教育プログラムの新設、人事制度の見直し</li> </ul> </li> </ul>
4. ガバナンス体制の継続的強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最適な経営形態、組織体制(事業持株会社制、純粋持株会社制またはHitz本体の強化・拡大)の検討、構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 関係会社10社のHitz本体への統合</li> </ul> </li> </ul>
5. 価値観の共有化と企業カルチャーの変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念などの価値観の共有と変革し続ける企業風土               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「Hitz Value」の共有化</li> <li>→ 外部コンサルタント起用による風土改革運動の継続</li> </ul> </li> </ul>

# 有明工場内のキャスク(原子力機器)工場の拡張



**既設キャスク工場**

- ・24 m x 80 m  
(1,920 m<sup>2</sup>)
- ・50トンクレーン 1基
- ・100トンクレーン 1基

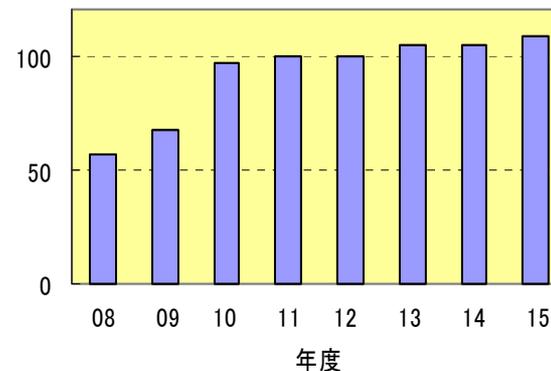


**拡張後**

- ・24 m x 200 m  
(4,800 m<sup>2</sup>)
- ・50トンクレーン 1基
- ・100トンクレーン 2基

2010年 7月 完工予定

キャニスター製作基数



# 計画と実績・見通

(億円)

	2007年度 実績	2008年度			2009年度			2010年度		
		HI-Ⅱ(*1) 計画値 A1	実績 B1	比較 B1 - A1	HI-Ⅱ(*1) 計画値 A2	実績 B2	比較 B2 - A2	HI-Ⅱ(*1) 計画値 A3	見通し B3	比較 B3 - A3
受 注 高	3,377	3,300	2,531	▲ 769	3,500	3,372	▲ 128	3,600	3,600	0
売 上 高	2,955	3,000	2,986	▲ 14	3,200	2,735	▲ 465	3,400	3,000	▲ 400
営 業 利 益	108	120	116	▲ 4	140	135	▲ 5	170	120	▲ 50
(営業利益率)	(3.7%)	(4%)	(3.9%)	(▲0.1%)	(4.4%)	(4.9%)	(0.5%)	(5%)	(4%)	(▲1%)
経 常 利 益	72	80	89	9	120	160	40	160	100	▲ 60
(経常利益率)	(2.4%)	(2.7%)	(3%)	(▲0.3%)	(3.8%)	(5.9%)	(2.1%)	(4.7%)	(3.3%)	(▲1.4%)
当 期 純 利 益	156	50	14	▲ 36	70	79	9	90	80	▲ 10
R O I C (*2)	7%	8%	7%	▲1%	10%	8%	▲2%	12%以上	7%	▲5%
有 利 子 負 債 残 高	1,022	950	1,037	87	900	1,128	228	700以下	1,000	300
自 己 資 本 比 率	19%	—	19%	—	—	23%	—	25% (*3)	24%	▲1%

(\*1) HI-Ⅱ：中期経営計画「Hitz Innovation Ⅱ」

(\*2) ROIC(投下資本利益率) = 営業利益 ÷ 投下資本

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債 + 少数株主持分 - (短期有価証券 + 投資有価証券)

(\*3) 計画は25%。目標は30%以上。



# Hitachi

## Hitachi Zosen

Technology &  
Business Innovator

